

『祝 辞』

卒業生・修了生の皆さん、誠におめでとうございます。ご家族や関係者のみなさまのお喜びもひとしおのことと存じます。心からお慶び申し上げます。

本学を設置しております学校法人佛教教育学園を代表して、一言お祝い申し上げます。

一〇〇年余りの伝統をもつ本学園は、仏教精神のもと、時代と共に変化する社会ニーズに対応して、すべての人々に「学びの場」を提供し続けることを目指し、つねに教育機構を整えて参りました。設置校のひとつであります佛教大学は、仏教精神とりわけ法然上人のみ教えに基づく大学であります。この佛教大学通信教育課程が 242 名の卒業生・修了生を、社会に送り出すことが出来たことは、教え導いて来られました教職員の皆様を始め、同窓の諸先輩はもとより、学園を設立しております浄土宗関係者のお力添えによるものと、感謝する次第です。

さて、皆さんが在学中に実施されました紫野キャンパスのリニューアルにより、大学の新たなシンボルとなる礼拝堂（水谷幸正記念館）が完成いたしました。礼拝堂全体が蓮をモチーフに統一された大変美しい建物です。蓮の花は、泥水が濃ければ濃いほど大輪の花を咲かせます。泥水の中で成長しながらも、泥に染まらずにきれいな花を咲かせる蓮。この蓮の花のように、これから多くの試練が待ちうけていようとも、自分を忘れずに大輪の花を咲かせてください。

実社会においては、状況が常に変化し、不安定で不透明な時代となっております。どうか在学中に修得された「幅広い教養」と「深い専門的知識」、さらには本学園の教育理念として培われた「自身をみつめ、生かされていることを自覚する叡智」「他者を認め、他者に親しみ、他者を敬う勇氣」「実社会を重視し、現実直面して、揺るがない実践力」を駆使し、なしうる最大限の努力をして、自分らしい花を咲かせていただくことを願いお祝いの言葉といたします。

卒業・修了、誠におめでとうございます。

平成三十一年三月二十五日

学校法人佛教教育学園

理事長 豊岡鐸尔